

治安関連ニュース

●メキシコ州、メキシコシティ、グアナフアト州の治安対策に大きな予算措置

3月18日に財務省(SHCP)が発表した2021年度の治安対策予算は総計76億8700万ペソ。うち、州別で最も割り当てが多かったのはメキシコ州となっており5億2900万ペソ。

次いでメキシコシティの4億7400万ペソ、ハリスコ州の3億ペソ。

また、バハカリフォルニア州に2億9200万ペソ、チワワ州に2億8600万ペソが割り当てられており、2020年度の殺人件数、女性殺人が多かった州への割り当てが多い。

逆に割り当てが少ない州は、トラスカラ州やユカタン州、ナヤリト州で、約1億7000万ペソ。

出典:3月18日 La Jornada

<https://www.jornada.com.mx/notas/2021/03/18/politica/edomex-cdmx-y-jalisco-con-las-mayores-partidas-para-seguridad-publica/>

●来年6月実施予定の選挙過程で既に候補者117人が犯罪被害に

治安・市民保護省(SSPC)は4月9日、これまでに男性71人、女性46人の候補者が選挙過程で犯罪被害にあったと報告した。

これら被害者のうち、10件は失踪や不審死。

また、犯罪被害の47%はメキシコ州、ベラクルス州、ヌエボレオン州、オアハカ州、サンルイスポトシ州、キンタナロー州で発生している。

出典:4月10日 MILENIO

<https://www.milenio.com/politica/117-candidatos-agredidos-amenazados-reporta-sspc>

※なお、SSPCの発表では凶悪犯罪の被害は10件のみとされているが、既に選挙関係者64人が殺人被害にあっていると指摘する記事もある。

●4月5日、グアダラハラ(Jardines de la Paz)で通行車両の検査中に銃撃戦が発生し、警察官2人と襲撃犯2人が死亡。

●3月29日夜、カンクンのホテルゾーンのPlaya Tortugasで、発砲事件が発生し、現地従業員2名が観光客前で撃たれて死亡。

●3月27日、キンタナロー州トゥルムでエルサルバドル人女性が警察との口論の末、拘束され死亡。市警察の行き過ぎた対応が非難を浴びており、今後はキンタナロー州警察がトゥルム市警察を管理する。

市警察全職員に倫理研修受講を義務付け、受講しなかったものは解任。

●3月18日の日中、メキシコ州(Llano Grande)で警察車両が武装集団による待ち伏せ攻撃を受け、少なくとも警察官13人が死亡。